

## 移動の時代の市民権と軍務

### 英国陸軍・退役グルカ兵の市民権取得をめぐる論争についての分析

上杉妙子(専修大学兼任講師)

本発表は英国陸軍を退役したネパール人兵士(グルカ兵)の英国市民権・在住権取得をめぐる論争を分析することにより、移動の時代の市民権と軍務の関わりについて考える。

国境を越える人の移動が増大している現在、社会の周辺的存在(移民や女性、同性愛者、少数民族等)の包摂と排除による市民社会の再編や、国境を越える各種相互作用による越境社会空間の形成が、世界各地で進行している。このような状況下で注目されているのが市民社会の成員資格である市民権であり、包摂 衰退 引きこもり 拡大という四方向にわたり活発な議論が展開している。しかし、現在の議論に十分に考慮されていない要素がある。それは軍務である。

市民権と軍務には深い関わりがある。近代に至り、国民を主たる戦闘員とする常備軍体制が成立すると、古代ローマ・ギリシア以来の軍務と結びついた市民権概念が再興し、軍務は近代的市民権の概念の構築にあたり極めて重要な役割を果たしてきた。世界大戦期には、老若男女を問わず市民を戦争遂行のために協力させる総動員体制が敷かれた。ただし、戦後は多くの国家の軍隊が志願制に移行し、軍務と市民権とのつながりが薄弱になったことは否めない。そのためなのか、市民権についての今日の議論には軍務という要素がさほど考慮されていないように思える。しかしながら、テロとの戦いを標榜する国家の中には、軍務と引き換えに外国人に市民権を授与する国家がある。この現象は、市民権についての議論に反映されるべきではないか。グルカ兵の市民権取得を取り上げるゆえんである。

英国陸軍は1947年以来1990年代中葉にいたるまで、グルカ兵と出身国ネパールとの社会的・経済的紐帯を維持する雇用政策を実施し、退役グルカ兵に市民権はもちろんのこと、在住権・労働許可すらも与えなかった。しかしながら、1990年代後半以降は英国人将兵並の水準へと雇用条件が段階的に改善され、2004年には、1997年7月1日以降に退役したグルカ兵に限定して英国に在住し市民権を申請できることとなった。これに対して、退役グルカ兵は全ての退役グルカ兵の市民権取得を要求した。グルカ兵の主張をいち早く支持したのが野党・自由民主党であり、グルカ兵を指揮していた士官を父にもつ女優のジョアナ・ラムリーであった。退役グルカ兵の運動が報道されると英国世論もグルカ兵支持へと傾いた。

1997年以前のグルカ兵にも在住権を与えるべきだとする人々は、英国がグルカ兵に多大な恩義を負っていると主張し、国家のために生命を提供する覚悟のできている人は在住権が与えられて当然であると論じた。また、英国に対してさして貢献しているわけでもない難民・政治亡命者や軍務の歴史の浅い英連邦兵士が市民権を与えられ、福祉の恩恵に浴しているのに、200年近くにわたり英国の軍務につき、二つの世界大戦で多数の死傷者を出したグルカ兵に在住権を与えないのは「正義」を欠いていると主張した。さらに、労働党政府はEU重視政策を採っているため、愛国心を鼓舞する力をもつグルカ兵を英国に入れたくないのだろうという見方まで出てきた。

一方の労働党ブラウン内閣は、この問題を全般的な移民政策・市民政策の枠組みの中で処理しようとしていた。英国の移民政策の原則は EU 重視 英国社会に対する将来的貢献の重視 人道主義的配慮 英国社会の統合の促進ということにある。このような原則に照らしてみるならば、1997年以前のグルカ兵は将来の社会福祉のコストを高めるだけの存在として分類されることになる。

しかし、2009年4月には全てのグルカ兵に市民権を与えるべきだとする動議が自由民主党により下院に提出され、与党労働党からも造反者を得て、可決された。結局、政府は同年5月にすべての退役グルカ兵に英国在住権を与えると発表した。英国では4年間在住すると市民権申請資格が与えられるため、全ての退役兵に英国市民になる道が開けたということになる。

移動の時代の市民社会は、コアとなる市民の周りを市民権取得の候補者が幾層にもわたってとりまくという玉葱型の構造をなしている。しかしながら、だれが市民権を取得する上で優先されるべきかという優先順位のつけ方についてはいくつかの異論が存在する。優先順位をつける際には、軍務や過去の貢献といった、ネオ・リベラルな政策やコスモポリタンの議論の中で忘れられがちな要素が、大衆感情の中で顕在化する。上述の論争は、ポストナショナルな市民社会をどう再構築するかというビジョンや国家形成についての歴史認識の亀裂を印象づけるものとなった。

【 市民権、移民、軍務、グルカ兵、英軍 】

【 citizenship, migration, military service, Gurkha, British military 】